

平成大分男塾の歩み

塾長 緒方俊一

事務局長 甲斐

第一回平成大分男塾

医療を資源として考えたとき

塾長 緒方俊一

第一回 平成大分男塾

2013年4月17日開催 19:30~21:00

講師 金沢 伸明 広島県生まれ 30歳

略歴

携帯小説で 王様ゲーム がヒットし作家デビュー

小説、マンガ、映画界で活躍中

DeNA、ドコモや電子書籍の会社 エブリスタ の役員

王様ゲームのアプリ制作会社社長

他、ハウステンボスの経営コンサルタントで、イベント企画を担当

ミスユニバース長崎大会の審査員

愛車はレクサスとマセラッティ

彼女はいません

テーマ

「生きるための多角化」・・今のあなたの評価額はいくら？

内容

人がお金を生み出し、お金がお金を生み出す世の中。今のあなたの評価額を計算して10年後の評価額は？

次回

5月15日の講師 九州電力 ほんぼう氏

テーマ (仮題) 原子力発電を私たちはどう扱うのか

第二回 平成大分男塾

2013年5月15日開催 19:30~21:00

講師 本房 克紀 鹿児島県出身

略歴

昭和54年 鹿児島工業高等専門学校 電氣化卒業

同年 九州電力入社 玄海原子力建設及び補修業務

川内原子力2号機建設及び1・2号機補修業務（電氣計装）

同発電所 定検短縮課長及び作業管理担当課長

六ヶ所村再処理施設の内高レベル廃棄設備等の建設

平成24年7月より大分支社原子力広報兼防災担当

テーマ

「原子力現状と当社の安全向上対策の状況」

内容

原子力発電は危険といわれみなさんが廃炉の方向で検討されているようです。
そこで、完全停止のままか、どのくらいをめどに廃炉するのか、存続するのか。
その利益と不利益を知ることそれぞれの意見を温めましょう

4月17日の講師 金沢伸明

テーマ 「生きるための多角化」・・今のあなたの評価額はいくら？

次回

6月19日の講師 前大分市会議員 早川 和人 氏

テーマ （仮題） 市会議員活動を通じて市議会の在り方と私の人生

第三回 平成大分男塾

2013年6月19日開催 19:30~21:00

講師 早川 和人 大分県出身

略歴

別府大学美学美術史学科中退

1992~94 メディカルリンク（対外診断薬メーカー勤務）

1995~07 BRICKNY-EUROPE（ヨーロッパでの日本食フランチャイズ供給会社）勤務

2012~13 欧米での生活経験を生かすべく、大分市議会議員補欠選挙で当選

先の本選で落選後家業の居酒屋を経営しながら今後の展開を模索中。

テーマ

「大分市議会に見るマンネリズムとこれからの大分」

内容

1年10か月ほどではありますが大分市議会議員を経験させていただきました。

約二人に一人しか市議会議員選挙に行かない、大変市民の関心の薄い大分市政です。

いったいどのように議会の中で物事が決められていくのか！？

市民の声はちゃんと届いているのか！？

短い人気でしたが私の見た大分市政の現状を皆さんで考えたいと思います。

次回

7月17日の講師 丸尾 匡宏氏（臼杵循環器内科院長）

テーマ 仮題「主権国家と経済・軍事」（日本は主権国家たりえるのか？ 目をさませ日本！）

第四回 平成大分男塾

2013年7月17日開催 19:30~21:00

講師 丸尾 匡宏 大分県出身

略歴

大分大学医学部卒業 県内各地の病院を外来、病棟、当直で廻り、その後日田の

聖陵岩里病院勤務を経て東京の聖マリアンナ病院へ。平成4年臼杵に臼杵循環器科を開業。そして循環器リハビリクリニック、黒島デイサービス等をオープンさせ、現在に至る。平成13年に自衛隊を日本国軍にする会を設立。軍の必要性を説く一方、大分県護国神社で毎年「大分憂国忌」を開催し、三島由紀夫烈士の追悼式を行い、命を捨てて行動する精神の昇華を顕彰する活動を行っている。

現在 臼杵循環器内科院長、自衛隊を日本国軍にする会会長、防衛協会理事

テーマ

「主権国家と経済・軍事」(日本は主権国家たりえるのか? 目をさませ日本!)

内容

日本は敗戦後、経済は善で軍事は悪と割り切り経済大国となった。日本経済の戦後復興の過程を分析し、その側面から軍事力を思考する。国家としての背骨のない、内臓だけぶくぶく太った日本に、中国、韓国が「誠意を見せろ、謝罪しろ」と襲いかかる。この状況で安倍総理は毅然とした態度を見せる為、自衛隊を国防軍にする一手を打った。しかし、それは過去の失敗に学んでない様に見える。朝鮮、ベトナム、湾岸、イラクという4つの大戦争を完全なファイナンスで遂行した米国を見ながら、日本が名誉と誇りある主権国家として完全に独立する道を模索したい。

次回

8月21日の講師 河野 聡氏 開始が19時と30分繰り上げられます。

テーマ 仮題「憲法9条」

第五回 平成大分男塾

2013年8月21日開催 19:00~21:00

講師 河野 聡 大阪府出身

略歴 生年月日：1960年6月24日

1985年 大阪大学法学部卒業 ・ 司法試験合格

1988年 弁護士登録 （大分県弁護士会）

1991年 市民総合法律事務所 設立

【所属団体・役職】

全国クレジット・サラ金問題対策協議会 事務局次長・生活保護問題対策全国会議 副代表幹事

CFJ被害対策全国会議 代表・アイフル被害対策全国会議代表

欠陥住宅被害全国ネット 幹事・全国先物取引被害研究会 幹事・過労死弁護団全国連絡会議幹事

テーマ 「憲法9条」

内容

軍備があれば・・・外交が強気になれるのか。竹島や尖閣諸島、千島列島を取り返すことができるのか。日米安保条約を解除したうえで独自の外交を展開することができるのか。

外国軍からの防衛として武力は有効なのか。中国や北朝鮮が積極的に日本を占領するメリットはあるのか。最悪、竹島・尖閣諸島・北方4島をあきらめさえすれば多額の予算をかけて利益があるのか。武力はむしろ標的になるのではないか。現在、海上保安庁が中国軍艦船から尖閣を守れているとすれば、保安庁を増強することで国境を守ることも可能ではないか。憲法9条の改憲の必要性が問われる。

次回

9月18日の講師 広瀬 瞬氏

テーマ 仮題「歴史を通してみる日中関係」

第六回 平成大分男塾

2013年9月18日開催 19:00~21:00

講師 広瀬 舜一

略歴 約30年前に大学院卒業後家業を継ぐために帰郷した。

それまで陶器の卸販売業であった家業をDIY量販店として発展させた。

現在、元町店は8000平米の巨大なショッピングモールとして注目されている。

大分、熊本、長崎県で27店舗を展開しており、更に太陽光発電にも力を入れている。

テーマ 「近代史を通して日中関係を考える」

終戦記念日が来た。まず、日本が今ある状態は戦争で散って行った英霊の命と引き換えにあることを忘れてほしくない。中国は、戦争によって日本に搾取されたというが、満州に残した財産は莫大なもので、個人の資産を中国は自動的に接収したという歴史がある。

韓国政府もであるが、中国政府はこの歴史をねつ造し、都合の良い主張を繰り返している。歴史を学ばなければというが、偏った歴史観では日本の将来はない。

次回

10月16日の講師 緒方俊一

テーマ 仮題「医療費は今の半額で済む」

2013年

- 11月 日清戦争

2014年

- 1月15日 第一次大戦
- 2月7日

2019年

- 2月21日 韓国^の歴史教科書
- 9月19日 日米安保条約
- 11月21日 日米地位協定

2020年

- 2月20日 新型コロナ肺炎は殺人ウィルス
- 7月14日 治安維持法(芝氏)
- 9月17日 蔣経国と李登輝

2021年

- 3月12日 東北大震災の10年
- 4月15日 中国の歴史教科書
- 5月20日 日出生台演習
- 6月17日 日出生台演習
- 9月16日 世界史の中の日本史
- 10月 東京裁判
- 11月 日 コロナと日米大戦

2022年

- 1月 歴史総合後半
- 2月 戦後史の正体
- 3月 ベトナムの歴史
- 5月 現代ロシア
- 6月 ロシアの歴史教科書
- 8月 ウクライナを知る